

いちよう並木の根系調査（第2回）の実施について

本日より、樹木医等専門家の立ち会いのもと、いちよう並木の根系調査（第2回）（以下「本調査」）に着手いたしました。計画建築物（野球場棟）の基本・実施設計前に本調査を行うことで、本事業の重要事項であるいちよう並木の保全のために必要な設計・施工上の工法等を精査できるようにいたします。

なお、調査結果は、今後の東京都環境影響評価審議会総会にて事後調査報告を行うとともに、本プロジェクトサイト等を通じて公表する予定です。

■根系調査の概要

1. 調査目的

根系調査の目的は、いちよう並木に隣接する計画建築物（野球場棟）建設によるいちよの根への影響を判断するにあたり、4列のいちよう並木の西側1列について、根の位置や生育状況（太さや本数等）を確認することですが、2023年1月に実施した第1回根系調査では、一部、コンクリート塊や石礫、塩化ビニル製パイプの出現により十分に確認できない箇所があったため、本調査では第1回根系調査よりも西側の地点で再調査を行い、より徹底的に確認いたします。

なお、2023年1月に実施した第1回の根系調査では、歩道縁石から約6.5m内外の位置で調査を行い、根系調査を実施した範囲では、全地点で本計画にて提出済の環境影響評価書本編記載の考え方に示す、環状剥皮（※1）の目安となる「10cmメッシュ内に直径30mm以上の根が4本以上ある」箇所は見つかっておりません。

※1 ある一定の太さの根の表皮を形成層まで剥ぎ、剥皮部より発根を促し、根の切断に対する樹木への負担を軽減するための方法

2. 調査期間

2024年1月9日～2024年2月上旬頃（予定）

3. 調査会社

イビデングリーンテック株式会社

4. 調査対象箇所

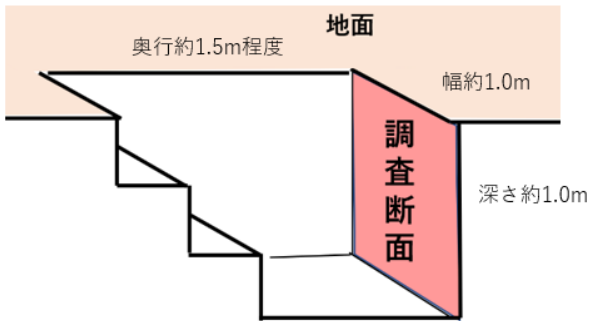
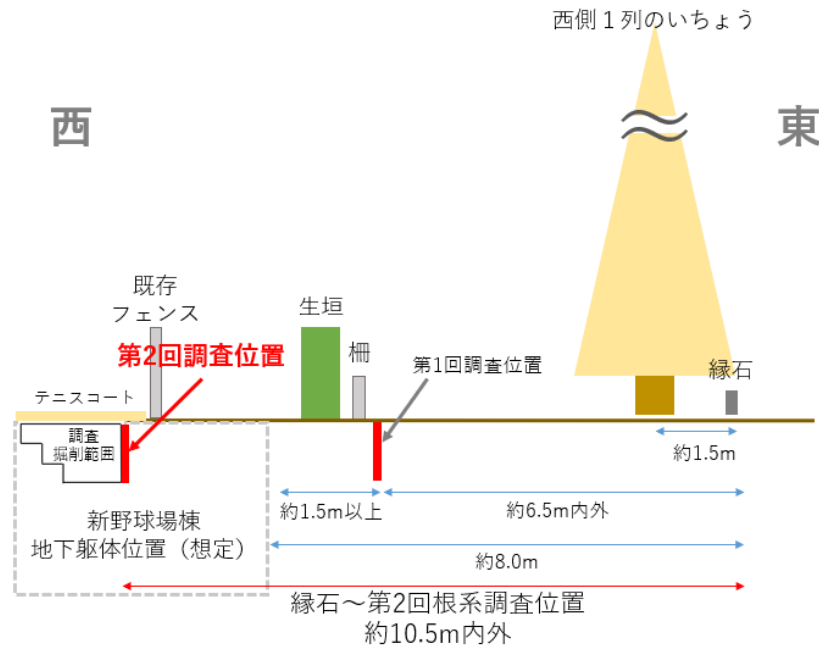
複数の樹木医から意見を聞き、いちよう並木西側の明治神宮外苑テニスコート内および明治神宮外苑青山駐車場の通路部分において10箇所以上を調査対象といたします。

5. 調査方法

歩道縁石から約10.5m内外の位置で調査を実施いたします。深さ約1.0m、幅約1.0m、奥行約1.5m程度の穴を原則手掘りし、専門の樹木医・調査員により土壌断面における根の位置や生育状況を調査いたします。穴を掘る際には、歩道縁石から約12.0m地点からいちよう側に向かって掘削を行い、太い根が出てきた際にはたぐり掘り（※2）を行い、最終根系伸長位置を確認いたします。前回調査に引き続き、本調査において環状剥皮を実施する予定はございません。

※2 根を切らないように、根の先端まで慎重に掘り進める方法

【調査位置模式図】



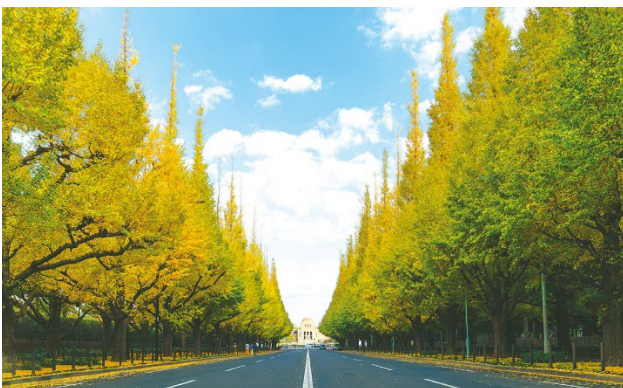
(参考) 掘削範囲と調査断面のイメージ (テニスコート側)

6. その他

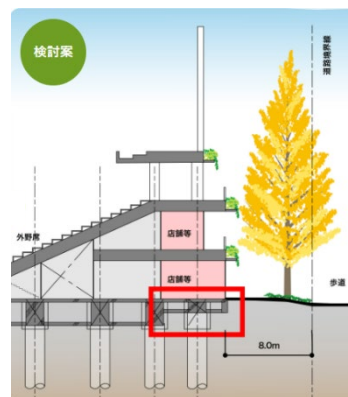
本調査に関するお問合せは、神宮外苑地区まちづくり準備室 (TEL: 03-6695-0539) まで、お願いいたします。現地では調査作業の安全管理を優先し、見学および現地における直接のお問合せに関する対応はいたしかねますのでご了承ください。

【参考】4列のいちよう並木の保全について

これまで情報発信しております通り、4列のいちよう並木は伐採せずに保全いたします。いちよう並木を確実に保全するため、活力度調査や根系調査の調査結果および樹木医の見解を踏まえ、野球場棟のセットバックなど、必要な施設計画の見直しに取り組んで参ります。



4列のいちよう並木



扁平基礎・ビット縮小検討案

以上